

教育民生常任委員会

(令和元年 6 月 10 日)

○ 中村久雄委員長

それでは、お待たせしました。ただいまより教育民生常任委員会を開催したいと思います。

当委員会におきましては、本日、インターネット中継を行っております。ご協力いただきますようお願いいたします。

それでは、インターネット中継を開始してください。

また、本日の傍聴者ですが、市民の方、5名がお見えになっております。ご承知おきください。

それでは、教育委員会所管の議案について審査を行います。

まず、教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○ 葛西教育長

皆さん、おはようございます。

このたびは、小中学校の大規模改修工事に係る工事請負契約締結議案の先議のために教育民生常任委員会を開催いただき、まことにありがとうございます。このことについては大変感謝を申し上げますとともに、議会初日の多忙な中、お時間をいただくことになりましたことについて深くおわびを申し上げます。まことに申しわけございませんでした。

ここからは、着座にてご説明のほうを差し上げます。

このたびお諮りいたします3議案につきましても、いずれも予定価格が1億5000万円を超える工事請負契約であり、契約締結には議決が必要な案件であります。児童生徒の学校生活に支障がないように、夏休み期間中に主要な工事を終えようとするものですが、6月定例会議会の最終日の議決では工事期間を確保することができないことから、本日、先議をお願いするものであります。

上程に係る経緯といたしましては、本年度予算を発行する4月1日に予算執行に取りかかりましたが、結果的にこの6月定例会議会においてお願いすることになったものです。

工事発注手続を行っていく中での議案上程のタイミングを逸したことや、6月定例会議会までの間に議案上程の方法を模索できなかったことから、このように先議をお願いするご相談が開会間際となってしまい、議事日程にご無理を申し上げることになってしまいま

した。重ねて深くおわび申し上げるとともに、今後は、確実な事業執行に努め、このようなことがないように進捗管理を行ってまいりますので、本日はどうぞご審議を賜りますようお願いをいたします。

○ 中村久雄委員長

ありがとうございます。

- 議案第15号 工事請負契約の締結について  
—泊山小学校大規模改修工事<2期工事>—
- 議案第16号 工事請負契約の締結について  
—朝明中学校大規模改修工事(1期工事)—
- 議案第17号 工事請負契約の締結について  
—桜小学校大規模改修工事—

○ 中村久雄委員長

それでは、議案第15号工事請負契約の締結について—泊山小学校大規模改修工事<2期工事>—、議案第16号工事請負契約の締結について—朝明中学校大規模改修工事(1期工事)—、議案第17号工事請負契約の締結について—桜小学校大規模改修工事—を一括議題といたします。

それでは、提出議案の参考資料追加分が提出されておりますので、資料の説明を簡潔にお願いいたします。

○ 広瀬教育施設課長

教育施設課長の広瀬でございます。どうぞよろしくお願いたします。

ご説明に入る前に、私のほうからも一言おわびを申し上げさせていただきたいと思ます。

今回の件につきましては、私の議会運営に関する知識のなさとお上への相談するタイミングを逸してしまったこと、これが一番の原因であったと思っております。結果、十分なご審議時間をとっていただけないにもかかわらず、議決を急いでいただくこととなりましたこと、深く反省し、おわび申し上げたいと思ます。まことに申しわけございませんで

した。

それでは、資料のほうをご説明させていただきます。

タブレットのほう、フォルダ名03、6月定例会議会、05教育民生常任委員会、その中のファイル名です。114、6月7日追加配付、提出議案参考資料、よろしいでしょうか。

大規模改修工事を行う学校の普通教室空調整備時期についてでございます。ページは8ページでございます。よろしいでしょうか。

森 康哲議員からは、議案第15号、16号、17号について、エアコン工事との兼ね合いがわからないので、わかる資料をという資料請求をいただきましたので、この資料を用意させていただきました。

ご説明のほう、させていただきます。

大規模改修工事を行う小中学校の空調設備整備時期についてでございますが、まず、大規模改修工事におきましては、教室の内部改修を夏休み期間中に完成させることを最優先として、大規模改修工事を行っております。

一方、空調整備事業につきましては、当初の予定どおり、原則長期の休み期間となる夏休みと冬休みを利用し、原則整備を行い、今年度中に整備を完成させ、来年度から使用できるように取り組んでおるところでございます。

空調整備事業と大規模改修工事の施工範囲が重複している学校におきましては、空調整備事業要求水準書におきまして、あらかじめ整備時期について調整することを盛り込んでおきまして、当初より空調整備は冬休みを中心に行うこととしております。

引き続きまして、2番でございますが、スケジュールを簡単にお示しさせていただきました。上の段が大規模改修工事でございます。四角に囲んだ部分は、大規模改修工事の工事期間をお示しさせていただいております。その中の矢印の区間というのが内部改修に係る期間でございます。下の欄でございますが、空調整備事業でございます。四角で囲わせていただいた部分で、全59校の普通教室に空調整備をする工事期間としてお示しさせていただいております。今回、大規模改修工事と重なる学校におきましては、矢印の区間、冬休みを中心に施工させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上です。

## ○ 中村久雄委員長

説明はお聞き及びのとおりでございます。

ご質疑ありましたら、挙手でご発言願います。

## ○ 川村幸康委員

冒頭に教育長のほうからと、広瀬さんほうからおわびがあったんですけど、このことについての、二つあるのやわな。枝葉の内容な、個別具体的な工事内容の議論もあるけれども、議会として幹にあるのが、市民からの税金で行政が施策を行う中において、無駄があったりいろんなことがあったらあかんで、それを公に周知して知らしめて、そして、本会議に上程して付託して委員会の中でやるという議会日程を組みながら議論していく中にくと、周知という期間が要るのやわな。それを考えると、やっぱり議会日程というのは、よくよく歴史もあって考えられておるのは、私らにも周知もあると、私らも勉強する時間があるのやわな。そのことについて調べてみたり、いろんなことを考えてみたりする。もう一つ言うと、それを含めて、市民の方々にも周知する期間が必要なんやわな。きょうの場合やと、上程して、きょうのうちにということは、市民には周知できやんわけや、基本。私ら議会を出されておるのは、議員が知ればいいんかという話やけど、我々もきょうしか、上程されてからしかの審査しかないわけやろう。

一つ、自由がないということがあかんのやわ。尻切って、ここを出してこいというのがな。ここに、行政手続的、議会手続的なことに対する、非常に幹を揺るがすことやもんで、これがもしオーケーであると、極端なこととして、議会は不要論になるのやわな。言いにくいやろうけど、私はそう思っておるんや。それぐらいに反省してもらうことも重要やけど、なぜ起きたかということなんや。過去で調べたけど、アスベストとか、直ちに健康被害があるとか、あと、解散総選挙の選挙費用の工面とか、退職金を含めてもろもろ五、六件、七件ばかりあったんやけど。今回、そのいずれの件にも当てはまらんのやわな、どらかという。極端なことは、緊急議会のようなことでもなさそうなんやな。例えば開会議会でオーケーやったんや。5月の開会議会でな。4月に入って無理やというのは、5月にはわかっておったんやろう、多分。本来であれば、無知やったで許してくれという話やけど、本来、開会議会で上程したらよかっただけの話なんやわな。そういう意味では、議会議務局長も含めて、報告すべきところ、上司とか、さまざまところに。やっぱりこれは全責任やさ。みんなの責任って、それでええかという、そうではないで、やっぱり二度と起こらんようにどうするかということやわさ。

一つ原因としてお伺いしたいのは、これがたまたま1億5000万円超えて議会案件になっ

たでということだけ以外のものなのか、どうなのかやさ。

2月当初でこれしておいて、6月に間に合うか間に合わんかということぐらいは、プロやったらわかるやろう。俺はそう思っておるのや。

この間、議運でも言ったけど、もしあれやったら、きょう、委員会だけでもしておいて、次の1週間置いたときの一般質問あたりのときの議決で何であかんのやという話やと、そのときは自分らの都合で、この10日しかない、1日しかないという話やろう。俺、そんな工事日程というのはないと思っておるのや。きょうを逃すと、何もかもできやんというの  
はな、この世の中。

だから、そこらをやっぱり自分らのことは曲げやんといて、こっちに全部しわ寄せが来るのは、どう見てもいかなものかと。ちょっと横着いなと思っておるのや。どうや、横着さはあるやろう、やっぱり。そうやで、きょうはあれでという話ではないで、そこらをきちっと、本当にあかんと思っておるのやったら、今後どういうふうにしたらこれが起こらんかということは、ちょっと答えてもらわんとな。

#### ○ 中村久雄委員長

反省もありましたけど、二度と起こらないようにということで、広瀬教育施設課長。

#### ○ 広瀬教育施設課長

教育施設課長、広瀬でございます。

まことに申しわけございませんでした。

今後ですけれども、今のところ議案の上程の時期とか、入札期間のスケジュール、また工事期間の確保、また、この大規模改修事業は、学校改善交付金の対象工事でございます。国からの内示の時期、改善交付金を対象とする場合、内示があった後の工事契約というのが対象となっております。そういった時期、また、市職員の配置の状況、それから、工事内容や工事の方法の仕方、また、現況の施設の状況も踏まえまして、再度十分に検討させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○ 川村幸康委員

否定はせんけど、内示待っての話やったら、他の部局でも、内示待っておって、結局あかんだで、不執行で減額というのもようあるのや。含めていくとな。だから、それも理由

に当たらん。今回は、単なるあんたらの知識不足、そこだけなんやわ。だから、内示が来るかどうかわからんだけど、予算見積もって上げておるのはようけあるのや。結果的に内示割れしてこやんだでとって減額補正っていっぱいあるわけやで、内示も関係ない。厳しいが、内示はわかるよ。わかっておるのやで。だけど、そういうこともある。含めていくと、今回は、議会の仕組み、行政手続の仕組みの中の無知がこういうことを起こしてきたんや。だから、もう一遍それは、教育委員会を含めて全部局との調整も要るやろうけど、勉強せなあかんわ、もうちょっと。

先議というのは、ルールの的にはあんのやけど、非常に民主的ではないということやさ。周知の期間がないんやで。そうすると、逆に言うと、行政と我々だけで先議してしもうたら不健全なんや。わかる、したいこと全部できちまうんや、議会と行政で。そうはあかんのや。やっぱり市民に周知して、市民の税金を使うんやで、市民にも周知の期間が要るわけやろう。だから、余りにもこれは不健全で、仕組みをいがめることやでな。しつこく言ったもあれやろうけど、そういう意味では、1億5000万円以上の案件なったであれやで、小ざかしいな、減額して、1億5000万円切るようなことにせえへんだもんで、逆に不幸中の幸いやわ。昔やとしたのがあんのや。これ、議会議決要るでどうのこうのって下げたのもあったけど、それはないでええけれども、ただ、今後は二度と起こらんように、先議というようなことは考えやんように。

以上です。

## ○ 葛西教育長

私ども、先議は緊急を要する案件で、あらかじめ予定された議決日より先んじて議決いただく一部の限られた議案と。このことについて十分理解が本当にできていなかった。そこにスタートがあるかなと思っております。こういうことが二度とないように、しっかりと議会の仕組み、それから手続、そういうふうなものについて、再度勉強させていただいて、皆さんにご迷惑をおかけすることのないよう、そして、市民の皆様にもきちっと周知できるようにしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

## ○ 川村幸康委員

議会事務局にも申してもらいましたか。議会日程やで、議会事務局は尋ねられておると思う。そうすると、議会事務局長の判断のミスや、これは。明らかに大きなミス。だから、

議会事務局も含めて、勉強するところではないんやで。議会事務局の考え方だけやったんやで、今回は。議会事務局長がそれはだめでっせと。緊急議会か何かを開くか、5月か、それとも極端なことを言ったら、この予算はお流れですよと、工事期間がと。こういう判断ぐらい私は議会事務局のほうがすべきやったと思っておるで、議会事務局も他部局やけどさ。ここを通じての議論で反省してもらわんとなというふうに思っていますので、強く委員長報告には書いてほしい。

#### ○ 中村久雄委員長

ありがとうございます。

今回の件は教育委員会だけでとどまるものではなく、全庁的に議会のこと、そして、市民への公正な税金の使い方という面でしっかりと反省するべきものがあるかと思います。ありがとうございます。

それでは、ほかにご質疑、ご意見ありましたら。よろしいですか。

#### ○ 川村幸康委員

議案のことでも少し、あれの中で言うと、エアコンさ、さっき、大規模改修に伴って、エアコンの日程を示されましたやんか。森議員から聞かれたやつ。この黄色いのは何なん。黒の矢印が施工期間、どういうことなの。これがようわからんのや。例えば大規模改修工事、今回の。7月20日から9月15から25日ぐらいまでの期間、黄色い枠で、黒の枠が多分夏休み期間中かなと思うんですよ。ここでも空調設備の工事が7月に入ったら始まって、3月20日ぐらいで終わるけど、多分冬休み期間中に黒印やと思うんやけど、これはどういうことを意味しておるのかなと。

#### ○ 広瀬教育施設課長

教育施設課長、広瀬でございます。

ご質問いただきました内容、黄色い部分というのは、例えば大規模改修工事でございますと、内部改修と、あと防水改修とか外壁改修とかもさせていただいております。また、ほかの教室以外の部分の改修もひっくるめて、総合的に合理的に工事をさせていただいている工事でございますので、今回、黄色の部分というのが、大規模改修自体全体の工期を示させていただいております。黒の部分というのが、矢印の部分でございますけれども、



こちらのほうで内部の改修を行うという部分を取り出ささせていただいて示させていただきました。

#### ○ 川村幸康委員

説明してもうたけど、ようわからんのか。黄色が大規模で、黒が内部、どういうことなの。具体的に言うと、工事をするのが、子供らの学校に影響を及ぼさんように黒印でのやけど、それ以外に、子供らが通っておっても、黄色い枠内で工事業者が出入りして工事をするというなんか。実質、授業に差し障りがないようにしながら、差し障りがある部分は黒印ということか。

#### ○ 広瀬教育施設課長

教育施設課長、広瀬でございます。

先ほど議員がおっしゃられたように、黄色い部分については、児童生徒に影響のない部分で工事が若干残っておるところがございますので、そういった部分をさせていただくということでございます。

#### ○ 川村幸康委員

議会でも私ら、議会が影響を受けると、すごく何度も議会運営委員会やかで会議して、工期短縮やら、いろんなことを注文つけたんやわ。それからいくと、例えば俺が思っておったん。この間、加藤清助さんも言っておったけど、もっと早くせいとか、もっと早くならんのかということもさんざん本会議場でも言っておったんやけど、空調設備工事の、夏休みの間、実際に何も工事せんわけやろう、できやんのかな、これは。するの、これは。夏休み間中、こっちの下の空調設備工事というやつ。

#### ○ 広瀬教育施設課長

今回お示しさせていただいたのは、あくまでも空調と大規模改修が重なる部分での空調整備の工程を示させていただきました。ですから、例えば大規模改修を行わない部分については、黄色の部分で外部で工事をしていたりとか、そういったこともございます。ほかの旨もさせていただいておる部分もございます。今回、大規模改修と兼ねる部分については、重複する部分については黒の矢印の区間で工事をさせていただきたいということでお

示しさせていただきました。説明不足で失礼しました。

○ 中村久雄委員長

ほか、ご意見、ご質疑ございませんか。

(なし)

○ 中村久雄委員長

それでは、これにて質疑を終結いたします。

これからは、議案ごとに討論、採決を行います。

まず、議案第15号工事請負契約の締結について、泊山小学校大規模改修工事<2期工事>について、討論、採決を行います。

討論のある委員の方は、挙手してご発言願います。

(なし)

○ 中村久雄委員長

討論なしと認めます。

これより採決を行います。討論ありませんので、簡易表決にて採決いたします。

議案第15号工事請負契約の締結について一泊山小学校大規模改修工事<2期工事>一については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 中村久雄委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第15号 工事請負契約の締結について一泊山小学校大規模改修工事<2期工事>一、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 中村久雄委員長

次に、議案第16号工事請負契約の締結について、朝明中学校大規模改修工事（1期工事）について、討論、採決を行います。

討論のある委員の方、挙手にてご発言願います。

（なし）

○ 中村久雄委員長

別段討論もないようですので、これより採決を行います。簡易表決で行います。

議案第16号工事請負契約の締結について一朝明中学校大規模改修工事（1期工事）については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（異議なし）

○ 中村久雄委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

〔以上の経過により、議案第16号 工事請負契約の締結について一朝明中学校大規模改修工事（1期工事）について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。〕

○ 中村久雄委員長

次に、議案第17号工事請負契約の締結について、桜小学校大規模改修工事について、討論、採決を行います。

討論のある委員の方、挙手にてご発言願います。

（なし）

○ 中村久雄委員長

別段討論もないようですので、これより簡易表決により採決を行います。

議案第17号工事請負契約の締結について一桜小学校大規模改修工事—については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 中村久雄委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第17号 工事請負契約の締結について一桜小学校大規模改修工事—について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 中村久雄委員長

ここで、教育委員会の議案審査は終了となります。

理事者の入れかえを行いますので、委員の皆様はしばらくお待ちください。どうもお疲れさまでした。

それでは、これよりこども未来部所管の議案について審査を行います。

まず、こども未来部長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○ 川北こども未来部長

どうも皆さん、おはようございます。

このたびは、(仮称)保々こども園の改修工事に係る工事請負契約の締結議案の先議をいただきます。こういった議会の初日のご多忙な時期に教育民生常任委員会を開催いただきまして、まことにありがとうございます。

と同時に、お忙しい時期ということで、開催したことにつきまして深くおわび申し上げます。どうも申しわけございませんでした。

今回お諮りする議案でございますが、契約の予定価格1億5000万円を超えるという工事契約でございますので、契約に際しましては議決が必要だという案件でございます。

具体的にはこの工事でございますが、まず一つは、幼稚園とか小学校が夏休みの期間を活用いたしまして、保々小学校におきまして、保々の保育園の園児の保育を行うと。その間は空になりますので、この間を活用いたしまして、園舎の内部改修工事を終えようとす

るものでございます。6月の最終日の議決であると工事期間を確保できないということで、本日、先議をお願いするという運びになりました。

これにつきまして、予算発行が今年度入ってすぐに予算執行に取りかかり準備を進めておったところでございます。例えば工事公告入札仮契約でございますが、開会議会の場では上程ができませんでした。ゆえに、6月の本日、上程をさせていただき、お願いをすることになりました。こういったこと、あるいは議会のほうへのご相談と申しますか、それが非常に短くなってしまったということも含めて、あわせておわび申し上げたいというふうに思います。今後はこういうことがないように十分気をつけてまいりたいと思います。本日はよろしくご審議をお願いしたいと思います。

それと、この時間をおかりいたしまして、先週の話でございますが、ちょっとご報告をさせていただきたい件が1件ございます。

先週木曜日の朝刊でございますが、私立保育園における給食の対応、具体的にはハラルに關しましての記事が掲載されたところでございます。この件については、去年の、要は平成30年度の秋ぐらいから、保護者のほうから私どものほうにもご相談があつて、これは宗教に關する観点であることから、適正な対応を行うよう園のほうには指導協議をしておったところでございますが、新聞記事にもありましたが、今年度に入って、4月末での退園となったと。それで、その後、改めてほかの園への入園審査がございましたので、一月の入園手続を経まして、6月1日から別の園での生活を送っていただいているというところでございます。

宗教に關する食事は、アレルギー対応と同様でございます。あるいはどちらどちらということはないですから、宗教というのは一つの大きな人間の価値観の問題でございますので、今後は特に保護者の方と密接に情報共有を行いながら、適切に保育を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。

改めてまして、議案に關しましては、本日、貴重なお時間をいただくことをお礼申し上げますとともに、おわび申し上げます。一生懸命にご答弁させていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

## ○ 中村久雄委員長

ありがとうございました。

報告の件に關しては、市民の方が市役所にSOSを求めてきておるので、その辺のとこ

ろを真摯に受けとめて今後もやっていただきたいと思います。

議案第13号 工事請負契約の締結について

— (仮称) 保々こども園改修工事 (1期工事) —

○ 中村久雄委員長

それでは、議案第13号工事請負契約の締結について、(仮称) 保々こども園改修工事(1期工事)を議題といたします。

それでは、提出議案の参考資料を、6月7日、追加配付が提出されておりますので、簡潔に資料の説明をお願いいたします。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課の大西です。どうぞよろしくお願いいたします。

このたびは、先ほど部長が申し上げましたとおり、議案日程にご無理を申し上げ、大変申しわけございませんでした。深くおわび申し上げます。

それでは、追加資料として、議案参考資料をご説明申し上げます。

タブレットでは、03、6月定例月議会、05教育民生常任委員会の114、6月7日追加配付、提出議案参考資料でございます。よろしいでしょうか。

そちらの資料5ページをよろしくお願いいたします。

去る全体の議案聴取会におきましてご請求をいただいております。

5ページの資料でございます。

空調に関してでございます。まず、保々こども園に関する空調を入れる箇所を示した図面であります。結論から申し上げますと、保々こども園の空調の整備に関しましては、長時間の保育を考慮し、他のこども園と同様に全室空調の整備をしております。その方法といたしまして、まず図面の右側の旧保育園舎の部分につきましては、今回、増築で新たに整備していくところには新規設置、そして、現保育室は、更新として取りかえを行っております。また、図面の左側、現在の旧幼稚園舎部分につきましては、1階部分は既にレンタルにおきまして設置している保育室1室を除き、新たに設置しております。また、資料6ページをよろしくお願いいたします。

公立幼稚園における空調設置の考え方でございますが、公立幼稚園におきましては、平

成30年6月末日までにクラス運営している保育室へのエアコン設置を行い、7月から稼働したところであり、これによりまして、保健室を兼用している職員室とクラス運営分の保育室にはエアコンが設置している状況でございます。

空調設置に関し、公立幼稚園はエアコンを必要とする時期におきましては、プール等の活動もあることから、遊戯室の使用頻度は比較的low、あわせて夏季の長期休暇もあることなどから、公立幼稚園におけるその他の設置計画はない状況でございます。

説明は以上です。

#### ○ 中村久雄委員長

説明はお聞き及びのとおりであります。

ご質疑ありましたら、挙手にてご発言願います。

#### ○ 川村幸康委員

冒頭の部長のおわびの言葉で気になったのは、忙しい初日に開いていただいてありがたいは、私らは別に開会やで忙しいとか忙しいは別なんや。そこらの認識はどう思っておる。さっきも聞いておったと思うんやけど、何におわびしたの。

#### ○ 川北こども未来部長

私がおわびさせていただいたというのは、まず一つは、この前の議案聴取会の場で私のほうが調整の能力が不足しておったというような言葉を使わせていただきました。

もう一つ、調整能力の以前の問題として、その場で川村委員のほうからもご指摘いただきました。能力の不足の問題と違うかというようなご指摘をいただきました。私どもといたしまして、やはりこういった案件について、調整能力も含め、あるいは先議の重みということも含めた勉強不足があったということについておわびをさせていただいて、そういった不足面がこういった半ばイレギュラーな議会運営をさせていただいているということにつきましておわびを申し上げさせていただいた、このような考えでご発言をさせていただいたところでございます。

#### ○ 川村幸康委員

先議というのはルールやであるんやけど、今、本当にわかっておるのかなと思っておる

のやわ。能力不足と言ったのはどういうことかということ、知らんという知識不足もあるけれども、それ以上に、税金使って、こういう行政施策をしていく上では、我々の議会というのは具体的には携わって議決をするというところもあるけど、もう一個は、広く市民に周知するというところの部分があるんや。議会日程もあらかじめ公開されていて、傍聴されたい人は傍聴にも来れるということやな。今回のことでいくと、たまたま傍聴者の皆さん見えるけど、先議できょう上程されて、きょうのうちに議決しろという話は、準備期間もなければ周知期間もないんや。さっきも言ったけど、あなたら行政側と私らで何でも話が進めていくというところに仕組み的に不健全なんや。健全さがないわけや。そうやろう。一つ、私らも準備できへんし、一つ、市民の方も知る権利はないわな、これで。奪うんや。そういったことを含めると、先議は規則的にはあるけれども、アスベストとか、突然解散が決まって予算が間に合わないとか、幾つかの過去に先例があるのを含めると、どうしようもない中での話や。

今回、特に教育委員会と違って、こども未来部のほうにちょっとお尋ねしたいのは、2月冒頭には7月でオーケーという話やったんや。夏休みは、当然新たにやったわけでもでもないわな。毎年変わらず来る期間やわな。わかっておってやったというのは、意図的じゃないかというところがあるのや。

教育委員会の前には、教育長が答えられておった中に、普通にいけば原材料費の高騰や何かがなかったら、1億5000万円以下の案件であったというのは、それは言いわけかわかんけど、一つの大義としてはあるんやわな。大体、四日市市の中央緑地体育館でも、当初80億円ぐらいというやつが100億円を超えてしもうたわけやでね。だから、そうやって考えると、建築材料を含めたコストの増加というのはわかるんやけど、今回のこども未来部の案件は、それでもないんやわな。

初めからわかっておってこういうことになったん違うかということしかないんやわ。教育委員会、もう一つ上げておったのは、内示ということをおったわ。私が尋ねたときも。内示が来るかどうかわからんだで。でもそれは私はだめですよと言ったの。内示あるなしにかかわらず予算を求めて、内示をあれしたら、そのときに不執行にしておるのはたくさんあるわけやで、言いわけにしかすぎやんよという話はしたんやけど、今回のこども未来部の場合は、そういう意味でいくと、どこに瑕疵があったん。ある意味、私は悪乗りと違うかなと思っておるのや、教育委員会に次いで。そうしたら、2月のときに議会で議決で諮ったときに、あらかじめわかっておったことやろう、全てこれ。4月に入って、



予算執行してからできやんだことと違うやん、これ。それなら、冒頭に議会で議決を求めるときに考えられることはあるわな、もう一つは。反省しておるといふなら。その辺の対応はどうや。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課、大西でございます。

保々こども園の、今回案件でございます。平成28年1月以来取り組んでおります公立幼稚園の適正化計画につきまして、公立幼稚園の園児数の減少から、就学前教育・保育の子どもたちの集団の確保を目的として進めてきております。今回の保々地区につきましては、4歳児、5歳児の混合クラスでの運営が平成26年度から続いておりまして、こども園化の計画により、就学前の子どもたちが、多数の幼児が相互にかかわり、多様な体験をしていく環境を……。

○ 川村幸康委員

忙しいんやで、質問だけに答えてくれよ。

○ 大西保育幼稚園課長

いち早く実現しようとしている中でございます。そのような背景から、令和2年度の開園を目指して取り組んでおる中での今回の案件と思っております。

今後につきましては、慎重かつ確実に業務執行に努めながら進捗管理を行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○ 川村幸康委員

休憩しようか、1日。答えていない。質問に。

○ 川北こども未来部長

冒頭、私のご挨拶の中でも申し上げました。4月、今年度に入りましてすぐに予算の施行作業に取りかかったというところでございまして、その中で、5月の開会議会ということも視野にはございましたが、その中でなかなか調整ができなかったということが一つで

ございます。ご挨拶のとき、あるいは先ほどの発言等もダブってしまって申しわけないんですけども、そういった中で、本日になってしまった。工期につきましても、保育園の中での工事のほかに、せんだって、議案聴取会の場でもご説明申し上げましたが、例えばサッシなんかを工場側でつくる期間というのがございまして、その工場側でつくる期間というのも、30何日か程度、40日はいかなかったと思いますが、30の後半ぐらいの日数が必要であると。取りつけも込みではございますが、そういったことをお尻から数えていくと、どうしても本日初日の上程、ご議決をお願いしたいということでございまして、本日のようなご迷惑をかけたという次第でございます。

## ○ 川村幸康委員

尋ねたことに答えていないな。今の部長のままでいくと、逆に言うと、自分らには何もミスも落ち度もない。上程してやってきたけれども、こんなのは不測の事態やったと、こういうことか。それやと、これからずーっと議会で工事案件で当初予算を組んだときに全部先議やで、あなたらが言うようになると。そうじゃないでしょう、今までやってきたんは。

だから、どこに原因があったのかというのをみずからなくて、工場の出荷やサッシが計算してみると、それも急に延びたの、違うでしょう。全てわかって、その上において踏まえて全部やってきたわけでしょう、今までは。今回だけはこうなってきたということの理由を尋ねておるのさ、反省するならば。そこを具体的に明らかにせな、またやるわな。今度、我々議会は、2月の当初でこうやって来ても、ええつと言うわな。そうすると、2月当初が遅いのであれば、12月の補正でやってくるわけ。

今まではほとんど当初でやって、先議ってないんやさ。だから、過去を調べてみ。学校の大規模改修を含めて、園舎や何かの工事で当初予算して、先議って一遍もないよ。教育委員会もあるのやけど、先議はないんやけど、それは議会案件じゃないんやわ、大概調べたんやけど。必ず1億3000万円、1億2000万円なんやわ、改修が。だから、議会案件にかかわらずにやってきたというのは、長年の、これは教育委員会の甘い息かもわからんけれども、流れの中でやってきた事務作業で、かからへんだらうという思いでやってきたのが、今回、1億6000万円と1億9000万円になったんや、建設の材料費の高騰で。それを、私らも今まで長年仕事してきた慣習からいくと、超えやんやろうと思っておったのが、超えたというのがようわかるのや。

だけど、ここのこども未来部に来ては、初めから超えるのもわかっておったし、2月の冒頭で7月からやらせてもらっても結構やし、サッシをつくることとか、小学校の夏休みというのもわかっておるわけや。明らかにそれはどこに原因があるのやな。あなたらは悪ないというんやろう。誰が原因なんや、これ。

#### ○ 川北こども未来部長

先ほどの私の発言で、私どもこども未来部のほうに非がないような趣旨の発言をさせていただきましたが、全体にある中で、部長である私も含めて、知識の関係の勉強が、あるいは今までの経験が足りなかったということを大前提にございまして、その上で、今後につきましては、契約を関係する総務部とも含めて、しっかりところいったことがないような契約、あるいは契約議案のあり方についてをしっかりと進めてまいりたいというふうに考えておるところでございます。

#### ○ 川村幸康委員

尋ねておるのは、部長、避けようと思ったけど避けれやんだんか、避けようとしたら避けれたと思っておるのか、どっちなん。

#### ○ 川北こども未来部長

冒頭議決を避けることができたかどうかということでございしましたが、可能であれば、当然のことながら、通常のこととして考えておりましたが、それは先ほど申し上げました私どもにベースの部分で非があり、その後のことについての調整不足ということでは避けられなかったというような状況でございます。

#### ○ 川村幸康委員

要は、部長、一番肝心なのは、避けようと思ったにもかかわらず避けやんだんやったら、わしらも仕方ないと思うんや。それから、私はまだ思っておるのや。今、上程されておるだけで案やでな。これ、避けれた案件なんさ。今度、行政的には、避けれた案件やけど、避けれやんだと言ってしまったら、今度は避けやんと来るよ。これからず一つと当初予算を通すと、あなたら必ずこれやで。今度、逆に言われたりするもんや。やったら、今回の件は何やったんやと。だから、正直に言ってほしいの。教育委員会の先議とちょっと違っ

て、今回、こども未来部のこの先議は。別にきょう議決せんでも、加納議員が提案したみたいなことでも俺はよかったと思っておるのや。委員会審査で掘り下げることやで、これは。よかったと思っておるのや、俺。でないと、俺が一番ここで危惧するのは、冒頭の当初予算で通してくれと言ったときには、あなたら、ちゃんと条件を提示しておるのやもん。議会というのは、こうこうこうこうこういう背景で、こども園をこうやって工事しますと。この期間内でこうやってやりたいからって。だから、大西さんに俺が聞いたことを尋ねてと言ったのは、平成28年の適正化計画やあんなこと言うで、あなたは、能力不足なん。関係のないことを答えるの、いつも。反省しな、それは。

それで、尋ねたことに的確に答えなあかんやんか。私が尋ねておるのは何かと聞いたら、あなたらが当初予算のときに背景でこうやってやっていくと。そうしたら、こういう条件でこうやってさせてもらいますから、効率よく仕事もしますから、能率よくしますよと、そういうことで来たわけやろう。背景、期間、目的はこうですよ。それが合理的で能率がいいですよと来たんや。にもかかわらず、今回、すぐに変えてくるから言うだけなんやで。

だから、そういう意味で言うと、避けようと思ったら避けれた案件や、今回。そこが一つもあなたらは触れやんのや。そこの原因、絶対公の場で言わんやんか。次からがどうなるかということも影響を考えて俺は発言するつもりなんやけどな、これ。

たかがというけど、結構大きな幹を揺るがすでな。通年議会で、それこそ2月当初で認めたやつやでな、条件設定は。議会では新人の方も見えるけど、認めたんやでさ、俺は承認で。いや、避けれやんだんですわと言われたら、大体普通人間が考えつくのは、過去にこんなあったんけと聞くわな。ないんやわな。何やという話や。私からすると、教育委員会も出しとるで、これにこども未来部は乗ってけさという話の世界かなと思っておるのやで、案件的にな。

## ○ 中村久雄委員長

どうですか、川北部長。

## ○ 川北こども未来部長

何度も同じ答弁で繰り返しですが、我々の能力がなかったということが、知識も含めてですけれども、最大限の原因であったというふうに考えておりまして、先ほど申し上げたように、我々の能力がない部分は、ほかの知識がある部局ともしっかり連携をして、二度

とこういった審議期間がないような、あるいは川村委員がおっしゃっていただいたような市民の方への周知の期間がないようなことのないよう、しっかりと勉強をしてまいりたいというふうに考えております。今回、本当に申しわけございませんでした。

○ 中村久雄委員長

能力不足云々はいいとして、今、川村委員が聞いているのは、避けようと思ったら、いろんな議会手続、行政手続を使いながら、こういう1日しか審査期間がないことは避けられたのかというのを聞いておるの。それだけ簡潔に。だから、そういう面で次の反省が生きてくるというふうに考えますけど。

○ 川北こども未来部長

こういった先議という形でのお願いは避けることができ得なかったというふうな理解をしておるところでございます。

○ 川村幸康委員

先議が避けることができなかったということは、逆に言ったら、当初からできやんだということやわな。そういうことになるわな、裏返って言うと。だから、論理矛盾しておるというの。

○ 川北こども未来部長

2月の予算のときというご発言だと思いますが、そのときと、今避けることができなかった論理矛盾につきましては、その辺が能力不足であるということでおわびを申し上げておるところでございますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

○ 川村幸康委員

部長、能力不足やったでという話で片づけようとするところがあかんのや。今後も能力不足やったですということで押し通してくるのや。それでは議会は認めれやんのや。そうしたら、これから何でもかんでも能力不足やったで認めてくださいという話なんや。そんな常套的な話を聞いておるのと違うんや、要は。だから、正直に素直に答えたらええんや。今まで当初予算で決定してきた案件に対して、先議をしたことがないんや。これはあなた

らもわかっておるやろう。市制120周年になるような四日市市で一度もないんや。こういう工事案件ではな。緊急性のアスベストや選挙とか、そんな不定期に出てくること以外はな。

そうすると、それをあなたらは、今、能力不足やったでという話をするもんで、今後も能力不足と行政から言われたら、俺らはあなたらに賛同せなあかんのかという話なんや。そんなんやったら、市民の方は、そんな能力不足の人を職責につけておるんかという話やで、そうしたら、あえて言いにくいことを言うわ。辞職したらどうや、能力不足やったんやったら。2億幾つかのお金やぞ、これ。

### ○ 川北こども未来部長

正直に申し上げて能力不足やったという話と、先ほど申し上げたように、どうしても私、あるいはこども未来部だけでは足りない知識というのはいろんな面がございますので、それぞれ専門の部局とそれを補い合いながらというのが一つ一番大きなことだと思います。

今回の反省はそれもございますので、そういったことを、先ほど申し上げたように、ほかの部局としっかりと連携、情報共有をする。使いなれた言葉で非常に申しわけないんですけども、その中で今後こういったことがないようにしたいというふうに考えておるところでございます。

### ○ 川村幸康委員

能力云々と含めて、情報共有を図ったで、そうしたら防げたか。今聞いておるのは、あなたらから出てきておる答弁でいくと、情報共有していても何をしていても物理的に無理なんですということを言っておるのや、一方では。だから、避けようとして避けれたんかと言ったら、避けれやんだと言っておるのや。ということは、能力不足とか、そんなこととは違っても避けれやんだ案件ですよとあなたは言っておるのや。

もう一方のところの話としては、能力不足やで済みませんと。避けれやんだんです。なら、避けられたんやったら、それは何で避けれたんやと聞いておるのや。全然私がさっきから聞いておることに答えやんもんで、こんなに長なるのやで。そこは、素直さがないのさ、心に。そこをちゃんと言えさということなんや。そうやろう、尋ねておることの意図するところはわかるやろう。今言おうとしておることは。

## ○ 川北こども未来部長

先ほども答弁させていただきましたが、今回の件についてはお願いをするしかなかった案件でございますが、ただ、何と申しますか、タイミングをどうするかという問題も一方であろうかというふうに考えております。議会の皆様のほうへのご相談と申しますか、お願いをしていくタイミングという問題もあろうかと思えます。そういったことも含め、基本ベースとしてこういった先議については非常にイレギュラーなものであるというような理解をさせていただいておりますので、今後、まずはこれがないようにしたいと。その中で、万が一のときについてはどのようにしていくのかということについてを、いろんな部局と協議をしていきたいというふうに考えておるところです。

## ○ 中村久雄委員長

今の部長の答弁のタイミング云々、だから、避けられるようなタイミングは図って、その辺をあって、それで、タイミングを図れやんだことを能力不足と言っているのか、全く今回のこの議案に対しては、2月の当初予算でちゃんと出したけれども、今回はそういうことも間に合わずに、この日の上程にしかできなかったのかと。そっちでしたら、能力不足は関係ありませんからね。能力はあったと。

## ○ 川村幸康委員

私ばかりであれやけど、大事やで言うておるのやで。答弁が曖昧やで。俺、余りせっちゃん詰めして詰めようと思っぺおらへんのや。その前に、やっぱりあなたらが素直にきちっとそのことの重大さたるを答弁するんならええんやけど、絶対せんのやったら、絶対俺も譲らんよ。譲れやんぜ。先議を避けれやんだとあなたらは言うておるのや。ということは、全然能力不足じゃないやん。そうやろう。あなたら、能力云々のことではないやん。俺から言わせたら、これは避けれたやろうと思っぺおるわけや、私の考え方、物の見方としては。避けれたのに避けやんだところに何があるのやということをきちっと明らかにしたら今後につながるのやけど、今のままで行くと、能力不足という説明で私は認めることになる、これからもずーっと、あなたらは能力不足やで能力不足やでと言っぺ認めていくことになるもん。それはあかんよというの。

## ○ 村山繁生委員

川村委員のほうからいろいろ言ってもらっています。確かにごもつともなことやと思うし、議会の立場として発言してもらっていると思います。

今回、大体先議ということは僕も知らなかったんやけど、先議を避けるわけにはいかなかったということは、結局それをきょう議決しないと、工事が間に合わないということが一つのことと、それは避けるわけにはいかなかった。

その根本的な原因は何かということが一番川村委員は聞きたいと思っておるのやね。結局、私の認識では、1億5000万円以上の契約に関しては議決が要ということを、そういう手続の不備だったと。そういうことをしなきゃならない手続の不備がなされて、それを知らなかったというか、それをしていなかったという手続の不備だけ上の問題だと違うんですか、これ。

○ 中村久雄委員長

違う、そんなことはない。

○ 川村幸康委員

額が大きいで。

○ 村山繁生委員

額が大きいから、議決が要という話じゃないですか。1億5000万円以上になると。1億5000万円未満なら、何もこういうことをしなくてもいいわけでしょう。だから、1億5000万円以上になると、こういう議決が要ると。そういうことをする手続の時間というか、そういう手続をしなかったということで、今こうやって急に上がってきたわということと私は思っておるのやけど、違うの。

○ 川村幸康委員

私が言っておるのは、教育委員会のやつはそうやなと思えるような程度の額なんやけど、3億円近いんやで、初めから、当初からおさまるはずはない話の世界なんやな。

だから、わしは、避けようと思ったら避けれたし、今回の場合でいくと大きいし、額も。教育委員会とまた違って。そうしたら、本来なら、もうちょっと常時の議案審査の中で、こども未来部だけがやろうと思ったら俺はできたと思っておるのや。それを夏休みって降



って湧いた話やけど、冒頭の2月にはそんなこと言ってへんだんやもん。7月の議決で間に合うと言っておったんやもん。だから、そうやって期間も載せておるのやでさ。それが、何で4月から6月の間の二月間で変わったきたかということなんやさ。だから、そこを素直に悪乗りしましたわと。教育委員会と一緒に先議してもろうたほうが楽ですわという話の世界と違うんかと俺は思ってしまうわな。

○ 村山繁生委員

今、川村さんの言われた7月4日の議決で間に合うと、初めから言ってみえたんですか、こども未来は。

そういうことでしたか、確認だけして。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課の大西でございます。

去る2月議会におきましては、ほぼ今回の工事の予算の上程ということで、工事予定しでは、平成31年4月からといったあたりで説明申し上げております。

以上でございます。

○ 村山繁生委員

だから、予算はもちろん平成31年の4月からやけど、工期の問題で、7月4日の議決で間に合うということを書いていたんですか。

○ 大西保育幼稚園課長

工事案件につきましては、そのときは申し上げてございません。

○ 川村幸康委員

当初予算のあれを見ると、そうしたら、私らは、あの資料は何や。適当に見とけということか。7月からになつとるぞ。一体私らは、議案資料はどうやって見たらええんや。

○ 中村久雄委員長

ちょっとここで休憩していきたいと思います。

その辺も確認して答弁をお願いします。45分再開でよろしいですか。いけますか。

[発言する者あり]

○ 中村久雄委員長

50分。じゃ、50分再開をお願いします。

11:35 休憩

---

11:48 再開

○ 中村久雄委員長

教育民生常任委員会を再開いたします。

それでは、当初予算との整合性で、先議を避けることはできなかったのかというところについて、理事者のほうから答弁をいただきたいと思います。

○ 川北こども未来部長

2月の資料のほうでは、確かに7月から工事というふうな明記をさせていただいているところです。今回、先議ということで、6月10日に、きょうから契約をさせていただいて、工事を進めさせていただきたいということですが、これは先ほど来申し上げているんですが、2月の時点で我々の工事期間に関する認識が甘かったということしか理由はございません。この点も含めておわびを申し上げるしかないというふうに考えております。

そういったことを含めて、何とか先議を避けるべくいろんな努力をしてみましたが、入札の日が5月10日ということもありまして、なかなかこれまでのスケジュールの中で上程するようなことができなかったということもございまして、こういったことになりましたので、この点についてもおわびを申し上げたいというふうに考えております。

以上です。

○ 川村幸康委員

当初で7月と言っておったのは、そこもやっぱり認識不足で、知識不足でこうなったと。

そうしたら、今、5月10日と言ったで、それから、具体的にどんな動きしたん。まず考えられるのは、議会事務局に相談はいつ行った。二役会初め、四役会はいつ上げた。今、5月10日でわかってきたんやったら、いつ。だから、5月10日は、6月10日にせんと間に合わんとなったんやろう。それはいつわかったん。いつ、どんな相談をしたの、具体的に。

○ 中村久雄委員長

いつですか。大西保育幼稚園課長。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課の大西でございます。

先ほども部長が申しあげましたように、5月10日入札ということに関しまして、その案件に関しまして、総務部と相談した次第でございます。

○ 川村幸康委員

5月10日に総務と相談して、今回の事態になるのがわかって、それから具体的に何を起こしたかということや。考えられるのは、議会案件が、議会に説明しておったことと違うのが出てきたんやったら、あなたら能力不足と言うけど、ここで初めて能力不足かどうか含めて、ここまでは避けれやんだわけや。5月10日からは避けれたか避けれやんだかの具体的な行動やと思うんやわな。2月の当初で7月と言っておったのが、能力不足やったかどうかはようわからん、そこはな。けど、具体的にわかったのは5月10日からや。5月10日から、議会事務局に相談するなり、さまざまなことを相談したのは、具体的には日程を教えて。

○ 大西保育幼稚園課長

5月10日の入札のために、去る5月16日、17日の5月議会での議案等の上程は難しかったことではございます。そのような中で、去る5月24日の議員説明会の機会につきましては、その機会を逃したことはおわび申し上げます。

以上でございます。

○ 川村幸康委員

全然質問に答えていない。説明したでええという話でもないし、上げたでええという話でもなくて、5月10日にもしかかんとしたら、5月16日、17日にまずは上げやなだめですぬということは認識はしたわけや。認識しておったにもかかわらず、どうの云々というのは、能力不足でも何でもないで。今謝っておるけどさ。心からじゃないわな。

だから、5月10日の入札をかけて、そうやってわかったんやったら、それこそ5月16日、17日まで1週間や。何も能力不足でも何でもないで、こんなの。無理やったって、あなた、さらっと普通のように言うておるけど、何で無理やったん。

### ○ 大西保育幼稚園課長

日程的な準備等を含めまして、難しいと判断しております。

### ○ 川村幸康委員

日程等で難しいというのは、何の日程で難しいの。極端なことを言って、5月10日に入札をかけてこうやってやっていたら、入札にかけたんやで全部出てくるわな。一遍それを出せさ。本当に10日でしかあかんだという工事内容のそれになっておるのやったら。そうやろう、それでわかったわけやろう。5月10日の内容でこうやってせなあかんというのがわかったのが、5月10日の入札でわかったんやったら、そのやつ一遍出して、資料を。

何で、あなたらは、今整理すると、5月16日、5月17日の議会に上げるべきやったけど、それには準備が間に合わなんだと、何が準備が間に合わなんだか、理解はできていません。できない、5月10日から1週間あって。そんな案件ってあらへん。中央緑地公園でアスベストが出たら、2日後には議会案件に上がっていたな、緊急議会で。1日、2日で上がるんや。その答弁は、いささか疑問がある。5月16日、17日の1週間後に無理やったと。やけど、1週間後に無理やったとしても、そうしたら、工事期間で5月10日にやって、6月10日に議決をもらわんと間に合いませんよになったのを教えてほしい。本当なのかどうなのか疑い深いわ。例えば6月24日でもよかったんかさ。もっと言うと、6月28日に予算全体会ぐらいまでは間に合ったんかさ、実は。そこに疑問が残るんや。

資料の提出を求める。

### ○ 中村久雄委員長

資料請求がありました。

## ○ 川村幸康委員

そんなもの、すぐ出るやろう。何で、入札かけて、工事会社を出してきて、5月10日に。それで入札かけて、業者決めて、そのやつを見るだけやん。そうしたら、それに工事期間やら実施計画期間が全部は言っておるもん。

今の答弁でわかったのは、5月10日に入札をかけて、その後、5月16日、17日にかけてやなあかんと思ったけど、それには手続難しかったというのは、何が難しかったのかわからんや。この議案を5月16日、17日に上げるだけの話なんやで。その認識したのが5月10日やのに、1週間もあれば俺は上げれたと思っておるのや。当然2億幾らになるのもわかっておるしさ、契約金額は。1億5000万円云々かんぬんじゃないし、議会案件にかかるかかからんかではないんやで、それには悪かったと。日程的に間に合わなんだという説明やろう。次の5月24日の議員説明会は忘れておったてき。忘れておったってないぞ。2週間もたって。今度はまことに済みません、議員の皆さん、初日、全部、私らの出したのを通してってくれて。好き勝手したらあかんと言っておるの、俺が。詰めたないけど、詰めたなってくるわな、そうすると。それだけ言い切ると、理由をつけて。初めから避けようと思ったけど、避けようともせんとさぼってましたわという話やろう。それが一番わかりやすい話やのに、避けようとしたけど避けれやんだと言い切るのやったら、出してこいさ、その理由を。5月10日に入札かけて、開札してき。5月16日、17日に間に合わんだというのも。わかったもんやけど、聞くわ。5月13日か14日か15日のうちには、6月10日に議決をもらわなあかんということがわかったわけやわな。そうやで、5月16日か17日に議会にかけやなあかんと思っておるわけやわな。

## ○ 中村久雄委員長

答弁できますか。対応できますか。このままだと午後になりますけど、いいですか。

慎重な審査はしたいので、お昼休憩を挟みます。再開は1時というところで。

12:00 休憩

---

13:00 再開

○ 中村久雄委員長

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、追加資料が出ていますので、こちらを簡潔にご説明いただけますか。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課、大西でございます。

午前中に引き続きよろしくお願いいいたします。

資料のほうですけれども、お手元に今回の保々こども園改修工事の入札明細書をご用意させていただきました。午前中も申し上げましたように、当案件の改修工事に際しまして、資料真ん中ほどでございます。入札月日としましては、申し上げたとおり、5月10日で実施しております。

以上でございます。

○ 中村久雄委員長

ありがとうございます。

それでは、午前中の質疑に対する答弁をお願いします。

○ 川北こども未来部長

こども未来部、川北でございます。

先ほど課長のほうから入札が5月10日だという話をさせていただきました。私ども調整不足、能力不足と色々な表現をさせていただきましたが、まず一つ、昨年度の予算審議の際、確かに資料のほうには工事期間が7月からと書かせていただいております。

その中で、予算のご審議とあわせて実施設計の業務を行っておる中で、先ほど来申し上げておりますように、7月の工事では、夏休み期間中の園児たちの工事ができないということがわかってまいったのが3月の下旬でございます。その時点で、これは1億5000万円以上の――これは予算の段階からわかっておることでございますけれども――議決のタイミングということについて上手にできなかったというところでございます。

正直申し上げて、3月の下旬ぐらいには、私どもとしては、総務部のほうにはお話をさ

せていただいたところではあるんですけども、その話し合い、私どもから見たら、総務部への情報の伝え方が不十分であったと。まず1点がそこにあるかというふうなところで思っております。

もう一つは、ご存じの中でもご意見と申しますか、ご審議いただきましたが、今見ていただいたとおり、入札の日が5月10日ということで、これは5月16日、17日の開会議会には間に合わないだろうというふうに、議案の締め切り、あるいは議会運営委員会であったりということも含めて、もう間に合わないだろうということで思い込んでしまったと。この時点で我々の中で諦めと申しますか、そういったものが出てきて、細かい申し入れも含めて調整できなかったというのが2点目の課題であるというふうに考えております。

午前中來申し上げておるのは、こういったことでのいろんな場での申し入れ、あるいは話し合っただけの場というのがあるかというふうに考えておりますので、その辺をいろんな部局としっかりと調整してやってまいりたいということでございます。

私のほうからは以上でございます。

#### ○ 中村久雄委員長

思い込みがあったところの話です。

#### ○ 川村幸康委員

部長、議会の中で言う話の世界でいくと、例えば3月下旬ごろにそれがわかってきて、総務部や例の情報の不十分さ、その不十分って何、まず。

これ、限られてみんなも待っておるんや、全議員が。そういう曖昧な答弁は時間をいたずらに長引かすだけやで、私が冒頭に期待しておったのはそんな答えと違うんや。再発防止のためにどうするかという話と、やっぱり避けようとしたけど避けれやんだという話ではなくて、どちらかという、先議を避けられたという認識のもとでいかんとな。そこをわびやんと始まん話やと私は思っています、今回。

再発防止は、その認識からまずいかんとあかんと思う、共通認識はな。誰でもが先議はよくないとか、どうという話は以前の問題なんや。その以前の問題のところを言っておるのに、情報不足とか、それから5月10日に入札でかけれやんだ思い込みというけど、さっきも調べたら、アスベストは1日でやっとなる。中央緑地公園と北楠幼稚園のやつでもな。アスベストが出てきたといたら、上程しておるのは、その日のうちに動いとる。例

えば工事しておいて出てきたとなっていて、その日のうちに一般質問の2日目ぐらいのときに追加上程しておるわ。

極端なことを言うと、認識不足、思い込みというのは通らんで、これ。だから、全て言っておるんや、俺が。思い込みとか不十分やった、知識、能力不足ということで済まそうとするスタイルがあかんよというの。午前中、そうやって言っておったんやで。何もそこらをきちっと協議してきていないんやで、それはあかんぞ。

### ○ 中村久雄委員長

その辺の、思い込みという表現やったけれども、だから、その辺でちゃんときちっと総務部のほうにしっかりと間に合わせるようにというか、議会の日程も我々議員も市民の福祉のためにやっているわけやで、それで議会に迷惑かけるとかうふうなことで、議会日程間に合わんというようなところで思い込んだんじゃないの。だから、その辺をしっかりと反省してもらったら、先議にかけるところの1日しか審査期限がないというところが、公共の資源を損なうというところを再三再四、きょうの午前中の質疑にあったところなので、その辺をしっかりとどう考えているのか、答弁いただけますか。

### ○ 川北こども未来部長

5月10日前後の件でございますが、先ほど委員長がおっしゃっていただいたように、我々としては、思い込みという表現を使わせていただきましたが、その中で、先議というものが、午前中もおっしゃっていただいておりますが、市民の方への公開、あるいは市民の方からの意見を聞くような時間的な余裕もないということ、正直認識不足として思っておるところでございます、そのあたりは深く反省をしているところでございます。以後こういうことがないようにしたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

### ○ 川村幸康委員

何からそういうことが生まれたかということをおただしておるのや。そうすると、行政側からしないで私からあえて言わせてもらおうと、行政が市民、議会を支配しておるというような認識に立っておるのと違うかなと思っておるの。もっとわかりやすい言葉で言うと、上から目線や。先議というのは、通してくれよということなんや。我々は、上程されて審査



をする中においてもあれやけど、きょうのこのメンバーは、あなたらから支配されて、通してくれよということ为前提で委員会を開いておるわけや。これは大きなことやで言うんやぞ。もっと言うと、市民に対する周知が不足してしておったということは、市民を無視しておったということやぞ。無視が一番あかんのや、社会問題の中で。いじめの最もあかんのが無視なんやでな。さまざまな差別の中でも一番ひどいのが無視なんや。あなたらは、逆に言うと、議会や市民の対して支配しておるという意識があるで出てきているんですよということを私は言っておるわけや。それがなかったらそんなことならんでしょ。その認識をきちっと。どうですか。

### ○ 川北こども未来部長

私ども言うまでもないことですが、議会の皆様、あるいは市民の皆様に対して、我々が支配をするということは毛頭ございません。ただ、今回のこういった議案の出し方について、そういったふうに結果としてなることについて、非常に申しわけなく思っております。

### ○ 川村幸康委員

結果やでどうしようもないという話で言うことではなくて、そうしたら、どうしたらその結果が生まれやんだかと考えたときに、支配意識があって、上から目線なんや。それ以上それ以下の何もないで。そこで認めろという話なんや。だから、やっぱりこれは、5月10日に入札でもしあれしたんやったら、あなたらが、本当に3月下旬で無理やというんやったら、一体議会事務局にはいつ相談した。そして、二役、四役にはいつ相談した。そうすると、さっきの午前中のあれよりももっと早うからあなたらはわかっておったということやんか、今度は。5月10日の入札以前の問題でわかっておったというんやろう。いつ相談したんや、議会事務局やらと。

### ○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課の大西でございます。

先ほども部長が申しあげましたように、入札内容が明確になっていた3月下旬におきまして、総務部のほうに相談した次第でございます。

以上でございます。

○ 中村久雄委員長

議会事務局には相談していないの。議会事務局に報告に行ったのはいつなんですか。

○ 大西保育幼稚園課長

こども未来部としては、まず、総務部のほうに相談した次第でございます。

○ 川村幸康委員

議会事務局は門前払いかな。我々議会は、無視されたわけ。

もう一つ聞くけど、3月下旬って曖昧なんやけど、いつなんやな。

○ 大西保育幼稚園課長

去る2月の議会の折には、工事期間としては、平成31年7月からということで資料のほうもお示しさせてもらっておる次第でございます。その後、判明してきたということで、3月の下旬ということで認識しております。

○ 中村久雄委員長

下旬がいつなんだということを明確に答えられませんか。

○ 川村幸康委員

例えば認識するんやと、会議開いたか何かやろう。会議録出せさ、そうしたら。

○ 大西保育幼稚園課長

会議録という形態ではございません。本市の状況は、当案件につきましては、このような状況になっておるといった形で総務部のほうと要は話し合った次第でございます。

以上でございます。

○ 川村幸康委員

総務部と話し合ったのはいつ。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課、大西でございます。

大変申しわけございません。下旬でございますして、日にちまでの記録はございません。済みません。

○ 川村幸康委員

日にちがないというんやけど、例えば思い出しやすいように言うと、3月21日は祭りで会議していないわな。3月20日は幼稚園の卒園式や、した。していないね。3月25日、最終日や、した。

というと、3月下旬と言っておるけど、日程を見ると、3月26日は保育園の卒園式なんや、極端なことを言って。その後、選挙の告示やらんならんで、毛頭ほとんど会議する時間帯はないねん、これ。3月31日は日曜日やでな、3月30日は休みやで。3月28日、29日は知事選や県議選の告示や。それ考えていくとないんや。だから、3月下旬というのは到底信じられやん答弁なんや、物理的に。もし、願わくはそうやってやるんなら、議会も3月28日、29日は閉会議会をどうするか、あれにするかという話で、緊急議会を3月31日の5時からしているわけや。日曜日に。だから、3月下旬にそれだけ処理をして、総務部も上げてきておるなら、総務部長も含めて来ているんだから、3月31日も議会しているんや。だから、それは虚偽答弁や。そんなことの認識があったんやったら、3月31日の緊急議会に上げられるもん。今のうちやで、わびるんなら。勘違いでしたって。

○ 川北こども未来部長

3月下旬で、明確な日が今の時点でちょっとわかりませんが、少なくとも総務部のほうに話をさせていただいたということは間違いはございません。

○ 川村幸康委員

それは、正式な会議かな、部長級の。立ち話かな。こんな大事な話を。

○ 川北こども未来部長

先ほど申し上げました、少なくとも私、部長同士ということではなしに、担当レベルであったわけですけれども、先ほど申し上げたように、そのあたりを大事なことであるので、

もっとしっかりとというのは、例えば私と総務部長が話をするとかも含めて、もっとやり方があったんじゃないかというふうに考えておるところでございます。

○ 川村幸康委員

担当者は誰。担当レベルで話し合って、今、3月下旬ごろに認識、総務部には伝えたと。総務に聞いた人は誰、確認したい。なぜかという、3月31日に緊急議会も総務部の案件だったんや。そのときに、少なくとも担当者が知っておるんであれば、これは総務部の責任やで。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課、大西でございます。

3月の下旬におきましては、大変申しわけありません。私ではなくて、担当係長のところでの話し合いをしております。

以上でございます。

○ 川村幸康委員

名前言って、誰と誰とで話し合ったか。

○ 大西保育幼稚園課長

保育幼稚園課は、前任の管理係長……。

○ 川村幸康委員

お名前は。

○ 大西保育幼稚園課長

岡田と申します。

○ 中村久雄委員長

総務部のほうはわかる。

○ 大西保育幼稚園課長

総務のほうは法務係長。

○ 川村幸康委員

名前、誰。

○ 大西保育幼稚園課長

長谷川です。

○ 川村幸康委員

そうしたら、長谷川さんと岡田さんはわかるけど、総務部のほうは、出勤簿みたいなことを含めて業務日誌があるで、いつ話し合ったか一遍出してきてよ。不明確やったら。

○ 大西保育幼稚園課長

大西でございます。

そのあたりの記録等につきましては、総務課のほうで確認をしてみます。

○ 中村久雄委員長

これは採決に関係するね。

○ 川村幸康委員

関係するね。

ということは、何かというと、そこまで行くんなら、ちゃんと徹底的に追求せんとき。本当に3月の下旬ごろにそういった認識をして、この日程では間に合わないとわかったんやったら、5月10日の入札前にわかっておるんやで、少なくとも一月以上、議会にかける案件があったわけや。

あなたらは、一方では、先ほど午前中。5月10日の入札で初めてわかったものとあたかも私に言ったんや。それなら、全議員か聞いたって、5月16日、17日にかけるのは、俺はそれでも無理ではないと思っておるけど、かかったなと思っておるんや。今の話を聞いていくと、3月下旬に6月の通常の議会では間に合わんと認識したというんやろう。それは

間違いないでしょう。そうしたら、全然時間がないことも何もないやんか。たっぷりとあるやんか。先議を避けようとしたら避けれたし、審査しようと思ったら審査できたん違うの。

うんうんって、みんな答えておるけどさ、大きなことやよ。

#### ○ 川北こども未来部長

3月の下旬というのが一つと、もう一つは、入札結果が出るまでは議案として、今回、契約議案でございますので、5月10日というのがもう一つのキーの日になるというふうに考えております。

#### ○ 川村幸康委員

部長、ちょっと冷静になってやってもらって答弁しな。今のもちよっと撤回しな。そんなようなことを言ったら、最初言っておったこととうそやで。

#### ○ 川北こども未来部長

冷静になって答弁したいと思います。5月10日というのが一つの話で、もう一つが3月の下旬からその間で、あるいは5月10日までの間でもっとしっかりと調整をできる可能性があったということをご反省させていただいているという旨で、昼からの冒頭にご発言をさせていただきました。

#### ○ 川村幸康委員

だから、部長、3月25日が最終日や、当初案件の。その時点で、3月の下旬のときにもうそれがわかっていたんや、少なくとも。3月25日から31日までの間は、ほとんど日程が目いっぱいなんや、調べたんやけど。総務部もあんだのところも幼稚園の卒園式や何や、人事異動やあれで、ほぼほぼ。その前に認識はしておったんや。要は、議決いただいた条件の説明が少し無理があると気づいたのは、7月ではもう間に合わなくて、そうしたら。チャンスは3回あったんや。最終日でも議会や議会運営委員会も開かれる中で報告してもよかったやろうし、3月31日の緊急議会でそんなことの説明ぐらいしてもよかったやろうし。部長言われるように、入札かけやな今度あかんというようなことを一つの理由にするならば、逆のことを考えてみ。入札かからな報告できない案件以外にも、どこがとろうがとろ

まいが、それはできるやろう。

### ○ 川北こども未来部長

答弁がわかりにくくて申しわけございません。

先ほど申し上げましたように、報告、あるいはご相談という形であれば、いずれかの機会に議会の皆様のほうにお話をできる機会があったというふうに考えております。

### ○ 川村幸康委員

だから、いつあったの、それは。

だから、あなたがここで説明しておるのは、避けようとしたけど避けれやんだだけの問題やったんやと。3月下旬で気づいておったけれども、甘んじてあなたの言うておる説明でいくと、5月10日の入札までは、それはかけれやんだと言うんや。だけ、そのときには準備できておるわけや、通ったら。間に合わんというのは。そうすると、普通に考えたって、5月16日、17日は、逆に言ったらちゃんとかけれるやん。違うか。5月10日に降って湧いた話と違うんやで、5月16日、17日にはかけれるやないか。なぜせんだ。初め知らんだとか、どうやったこうやったと言うておったで、能力不足とか、違うやん。知らなかったら、それは無知、無能を認めることやしあれやけど、そうじゃないやん。このやりとりの中で、5月10日にはわかっていたんや。手続的にどうとらなあかんかことぐらいが。だから、今、明らかにこの委員会でなったのは、5月10日には認識していたということや。避けようと思えば避けれたんや。認識不足というのは、知らんだでやで、通るかは知らんけど、そうじゃない。知っていたんや。先議も避けれたんや、そうしたら。

### ○ 中村久雄委員長

午後の冒頭で思い込みという表現がありましたけれども、先議という形を避けられたという可能性という表現でありましたけれども、今の段階で、3月の下旬にこれは判明して、2月定例会議会最終日のとき、もしくは3月31日の緊急議会のとき、そして、開会議会のときの3回の議案に上げる、報告できるタイミングがあったということはお認めになっているんですね。その辺のことをはっきり答弁していただいて、今後のことにつなげていっていけなくちゃ、これはいつまでたっても終わらん委員会になってしまいます。その辺のところははっきり聞こえていないからいけないんだと思います。その辺のことをはっきり

り、しっかり答弁をお願いします。

○ 川北こども未来部長

3月の下旬から、2回の議会を含めて、その場でご報告をさせていただくような機会があったというふうな認識はしております。

以上でございます。

○ 中村久雄委員長

その上で、そこで報告できなかったという背景に、この議会運営のこと、そして、市民への情報提供のことという部分の認識不足があったというようなところまで反省されているんですか。

○ 川北こども未来部長

委員長がおっしゃっていただいたとおり、あるいは先ほども発言させていただいたとおり、議案の提案に当たりましては、十分な時間的な余裕を持つ、それは市民の福祉のためであるというふうな思い、これが足らなかったということを深く反省しておるところでございます。

以上でございます。

○ 中村久雄委員長

どうですか、皆さん、この辺で議論も尽きたと思うんですけども。

○ 川村幸康委員

部長、一番ここで大事なことは、素直に、間違ったときに間違った、通常のイレギュラーからすると、ここではあかんかなと思ったけど、謝るべきときは謝るんさ。それを謝らんと、ああでもない、こうでもないということをこねるで、結局露呈するんや。

これ、極端なことを言ったら、最初に言っていたことと全然違うことを今言っておるわけやで。極端なことを言えば議会運営委員会では通らへんで。怠慢やんかという話や。通らへんよ。冒頭の説明と今と全然違うやん。5月10日から、入札してからしか諮れやんだと全然違っておるやん。3月の下旬には先議にかけやなあかんぐらいに、6月では間に合



わんというのが認識しつつやで、もたらしたのは何かといたら、簡単。議会みたいなのちよろいで、これで押し切ったればいけるとっておるところがあるのや。それ以上もそれ以下もないわ。だから、私はあなたらに質問する中で、どこを改めるべきかといたら簡単やん。行政でもミスもするし、知識不足も認識不足もあっては困るけど、あるかもわからん。それ、気づいたときにきちっと謝れさということをおっしゃるのや。ちゃんと謝れさ。違うか。素直になったらええやんさ。

#### ○ 川北こども未来部長

今回の件につきまして、さまざまな不手際がありましたこと、心からお詫び申し上げます。

#### ○ 川村幸康委員

重く受けとめてほしい。心からわびるんなら、これからのさまざまなかわる案件も誠実に向き合って、支配しないと。意味わかるか、支配しないと。どういう目線で行政をやるかということが大事なんや。あなたらが税金を使ってやってくる施策は、あなたらの仕事としてやってもらって結構やけど、やっぱりそこには、周知を含めて、どの目線に立ってやるかということが大事なんです。だから、やっぱり背景を探りながら、いろんな施策を打つけれども、準備期間なり周知期間なり、それから実施期間なり、時というのは必要なんやさ。それがなかったら、好き勝手放題してしまうし、よくないということなんやな、これが。だから、うそついたことはまず謝れさ、当初にな。あなたら、議会運営委員会にかけたときは、避けようとしても避けれやんだというようなことを言っておったんや、先議を。けど、ここで明らかに委員会審査でなったのは、先議は避けられたということなんや。それについては謝れさ。避けられたんやて。結果的に先議になったというだけの話。謝らんやったら終わらへんで。

#### ○ 川北こども未来部長

午後の冒頭でそういった趣旨のご発言をさせていただいたつもりでございましたが、説明の表現がまずくて申しわけございませんでした。

入札の前後の期間がしっかりとやっておれば、こういった形にはならなかったと思います。まことに申しわけございませんでした。

○ 川村幸康委員

もう2分。議会事務局に対する報告、総務部ではなくて、議会を無視したということは、議会事務局との情報伝達はしておったんか。ここも、俺ら議会としては大事なんや。どう捉えておった、そのとき。

それからもう一つ、あなたら必ずやっていると思うけど、二役、正副議長と議会運営委員会の正副委員長への報告、これはいつあったんや。3月にあってからやで、前役員さんのときにもしておったんか、それとも新体制になってからもしたんか、どういう議会への報告はしておった。だから、3月下旬にわかったときやと、竹野さん体制やろうし、岡本局長やろうし、新体制になったんやったら、今の瀧田局長と竹野さん体制もあれば、その後の今の議長との体制もあるやろうし。

○ 中村久雄委員長

答弁できますか、川北こども未来部長。

○ 大西保育幼稚園課長

まず、私どもとしては、特に議案に関しましては、総務部のほうに話をして、総務部のほうからという理解でございましたが、そのあたりも含めて、総務部のほうと議会との関係といたしますか、話の場ということも含めて、我々がもっとアンテナを立てておくべきであったというふうな反省をしておるところでございます。

○ 中村久雄委員長

議会事務局に話したのは、だから、話はしていないの。総務部を通じて議会事務局に知っているという認識やったんですか。

○ 川北こども未来部長

そういう認識でございました。

○ 川村幸康委員

そうすると、議会関係は蚊帳の外やったということか。

私が経験あるところでいくと、総務部と担当課が来るんや、四役説明でも。担当部署と総務部と事務局長とで会議はすんのか。それもせんだん、今回は。一遍も。そんなもの物すごい失礼な話や、そうしたら。一遍もしていないの。なめとったんか、そうしたら。前体制や今の体制を。していないんか、しておるか、どっちかやさ。二つに一つやろう。

#### ○ 川北こども未来部長

直接こども未来部のほうが議会、あるいは議会事務局も含めてというお話はさせていただいていないところがございます。済みませんでした。

#### ○ 川村幸康委員

そうすると、議会に対して説明していなかったということは、それも一緒やろ、支配しておるのやろう。行政が認めよと言ったら認めるわと思っておったんやろう。一回もしていないの、議会事務局に。

俺、休憩時間中に濱田局長に、おまえにも責任あるでと言ったんやけど、ないんや、そうしたら、濱田さんには。そうすると、いきなり議会運営委員会にかけたんかよ。

#### ○ 川北こども未来部長

私どもの反省点は、私どもが総務部のほうには話をさせていただきましたが、総務部と議会事務局が話をしているというふうに思っておりますが、そこにもう少し積極的に入っていないとだめだったなというような反省をしておるところでございます。

#### ○ 中村久雄委員長

議会のルールはどうなっているの、そういうところは。先ほどの川村委員の意見のように、総務部と担当部署が来るというのは。総務部だけで話がいくわけ。

#### ○ 川村幸康委員

通常で言うと、原課が来るよな。そんなんやったら、全部総務部か、契約案件。違うよな。入札業務を総務部がするだけで、原課が説明来ておるよ、全て。正副委員長、二役、四役にも。反省とか、そんなのずーっとごまかしておるけど、そんな問題と違うやろう、そうしたら。今の体制になったてからこれは出してきたんやで、委員長も見えるけど、委

員長のところに説明に来たのはいつなんや、そうしたら。めちゃくちゃなことをしておるんやな、そうしたら。何も説明も行ってない。先にここへ諮る前に、正副委員長と四役にいつ行っておるのや。あっちに答えてもろうたほうがええな。

○ 川北こども未来部長

私どものほうというよりも、議案の提出でございますので、これが正しいかどうかというところで課題としては残るかもわかりませんが、議案の提出に当たって、総務部のほうから正副議長、あるいは議会四役のほうにはご説明を、いつかまではわからないんですけども、していると思います。

○ 川村幸康委員

していると思いますではあかんわ。というのはなぜかという、一番肝のところは、何が大事かといったら、総務部が先議でかけんでもええと思って認識して説明しておると、先議せなならんと思って認識しておったはずにもかかわらず、総務部がそのときに3月の下旬に気づいておるのやでな、総務部は。そうやのに、何遍も説明する機会があっても、先議じゃなかったというんやったら、問題やで。

○ 中村久雄委員長

ちょっと休憩を挟みましょうか。

○ 川村幸康委員

先議を、それでいつ知ったんよ、総務部は、それなら。説明に行っていなかったんかな。あなたらのきょうの話では、3月下旬には気づいておるんやで、先議を。

○ 川北こども未来部長

総務部のほうには3月下旬のほうにお話をさせていただいたというところでございます。

○ 川村幸康委員

そうすると、議会のほうへ説明に行ったのは、それを総務部が伝えておるはずなんやで、いつなん。

○ 中村久雄委員長

それがわからんのやろう。総務部に任せ切っていたというところで、こども未来部として、もっと動けたんじゃないかという反省点は先ほど聞いたけど、本当に川村委員がおっしゃるように、それでは本当に責任ある行政とは言えないんじゃないかというところがあります。

これ以上、ここでこども未来部と議論しても、これは平行線やと思いますけど。

○ 川村幸康委員

総務部呼べ、そうしたら。議会事務局も含めて、いつ行ったんや、それ。

総務部と議会事務局に一遍確認して。いつ知ったか。3月の下旬に議会事務局も知っているわけでしょう。

○ 中村久雄委員長

知っているはずやわね。

○ 川北こども未来部長

総務部との話につきましては、お昼休みの時間を利用させていただいて、3月の下旬ということは確認をさせていただいております。

○ 中村久雄委員長

それは、こども未来部と総務部ですね。だから、総務部と議会事務局、四役というのがいつなのかというので、もっとこの議案が市民の方にちゃんとわかるにできるタイミングがあったかどうかというところで、質疑があるので。

○ 川村幸康委員

大きな問題やで、これ。

○ 中村久雄委員長

じゃ、ここで休憩をとりますので、その間に確認に行ってもらえますか。

15分か。再開は2時。

13:43 休憩

---

14:00 再開

○ 中村久雄委員長

それでは、休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

○ 川北こども未来部長

何度も申しわけございません。

総務部のほうから議会事務局のほうにいつだというようなことのご確認をということでございました。時間いただいて確認をしてまいりましたが、5月23日に総務部のほうから議会事務局のほうに話をしているということでございました。

以上でございます。

○ 川村幸康委員

だから、いいという認識。

というのは、今、あなたらは、逆に言うと総務部のせいにして、総務部が3月からその間、先議やのに、握っていて、議会に報告しなかったという認識でええんやな。と、総務部に質問せなあかんのやけど。

○ 川北こども未来部長

先ほど申し上げたように、5月23日と申し上げましたが、3月の末には、私のほうでは、総務部のほうに話しておりますが、先ほど申し上げたように、総務部長と私との間でもっと緊密な連携をとる必要があったと。これが今回の一番最大のことであり、こども未来部長である私どものほうから総務部のほうにしっかりと話をすべきであったというふうな反省をしておるところでございます。

○ 川村幸康委員

そうすると、こども未来部長のほうにしっかりと話をしたのはいつなん。

#### ○ 川北こども未来部長

しっかりと私どものほうにということであれば、総務部に相談に行く直前でございます。3月の下旬は下旬なんですけれども、その時点でしっかりとこういったスケジュールになるということ把握したのは3月の下旬でございます。

#### ○ 川村幸康委員

そうすると、3月の下旬から5月23日の議会事務局に行くまで、総務部はそういう認識でなかったということなんやな。ということになるんや、今の説明を聞いていると。

3月下旬には十二分に認識しておるのに、総務部が5月23日まで二月も放っておいたということやわな、今の説明を聞く限り。そうすると、別にあなたらの能力不足でも何でもないわけか。要は、伝えてあったのに、総務部がその仕事をさぼったということやろう。

#### ○ 川北こども未来部長

議案の上程という非常に重要な案件でございますので、私どものほうで公式非公式問わず、もっとコミュニケーション、情報伝達、あるいはその後の協議をすべきということをお反省として思っております。

#### ○ 川村幸康委員

部長、反省はしてもらうのはええんやけど、反省する前に、なぜ反省せなあかんようなことが起こって、どうなったかということが大事なんや。そうすると、今聞いておる限りでいくと、あなたら内部で調査をしておったら、3月の下旬ごろには、この工期日程では議案にかけておったけど間に合わんぞと。そうやけれども、一応最終日の議決があつたら、それは報告もせんと済んでもうたと。次、緊急議会もあつたし、開会議会もあつたと。その二つとも、あなたらはせなあかんと思っておったけど、総務部に言ったんやで、総務部がしてくれるやろうと思っただけで、担当の部局であるにもかかわらず、周辺者としてずっと見ておったんか、手続的なミスが起こるまで。当事者の意識があつたら、3月31日の緊急議会でもかけてくれなあかんやないかと気づくだろうし、5月16日、17日の開会議会にかけてくれよとも思うだろうし、それをずーっと見て見ぬふりしてきたん。

○ 中村久雄委員長

いやいや、見て見ぬふりじゃないわ。そこに、ちゃんと部長同士でしっかりとコミュニケーションがとれなかったというのを反省してもうとるんですよね。

○ 川村幸康委員

コミュニケーションはいいんやけれども、要は、この人らが総務部と共通認識を持ったのが3月の下旬なんや。それであるなら、議会でどこかでかけやとあかんということに気づいておるので、総務部もこども未来部も。それが31日にもかからんだら、せめても5月16日、17日の開会議会にはかけてくれやんと間に合わんやないかというのは、あなたらもわかっておったわけや。認識しておったわけやろう。何でそれを放置してあったんかなと思っさ。

○ 川北こども未来部長

5月16日、17日の開会議会につきましては、先ほども申し上げましたが、先ほどの表現をさせていただきますと、もうあかんやろうという思い込みもあったと。ただ、そのあたりの思い込みを消すためにも、もっとしっかりと私のほうで総務部長と、どういう方法があるのか、あるいは本当はないのかということをしつかりと協議してまいるべきやったというふうに思っております。

○ 川村幸康委員

協議の問題ではなくて、あかんやろうて何で思ったん。

○ 川北こども未来部長

5月9日というのが議案の締め切りかなということでございまして、入札が5月10日でございましたので、これは無理であろうというふうに思い込んだということでございます。

○ 川村幸康委員

5月10日は、それで無理やろうと思っ込んで、今度先議はええと思っったん。



○ 中村久雄委員長

その時点ではそう思ったと思いますけど、川北こども未来部長。

○ 川北こども未来部長

先議がええというよりも、先議をお願いしたいというふうな思いでございました。日程上、無理があるというのを承知の上でぜひお願いをしたいという思いでございます。

○ 中村久雄委員長

川村委員、ここでの議論はもう出尽くした感じですけど、もう一つですか。

○ 川村幸康委員

もう一つ、最後に聞かせて。

そうすると、5月16日、17日に、そのチャンスは、議会運営委員会との1日差であかんと思ったと。1日差でな。それも思って逃したんやったら、次、6月やけど、先議にせなあかんといったら、議員説明会があったわな、5月24日に。そのときは何でせんだん。

○ 川北こども未来部長

議員説明会の場で議会を開いていただくという、何と申しますか、アイデアというか、そういうのが私どもにありませんでしたのを反省しておるところでございます。

○ 川村幸康委員

アイデアというのはどういうことや。

○ 川北こども未来部長

議員説明会の場で議会を開会していただくということに、そこまで思いが至らなかったというところでございます。

○ 中村久雄委員長

要は、本当に考えが及びつかなかったというように、いろいろ話を聞いておって理解しますけど、本当に問題は、総務部へ担当者レベルで話がたって、連絡がっていると認識

で総務部に預けたと思いでいた。総務部は、この2カ月ぐらい、ずっと抱いていたというのは、総務部でもどういうふうな情報伝達ができていたか、これははっきりわからん状況で、ただ、その中で担当部局として、部長や課長のその辺の働きかけ、コミュニケーション不足が今回の大きなまず一因になったというところをしっかりと反省していただきたいと思います。

本当にたくさん反省するだろうし、四日市市役所全体の問題かわかりません。ただ、本当に川村委員が再三再四言っているように、議会や市民、そういうところの、俺らがやるからいいんだというところの根本的な体質も出たというふうに思われても仕方ない部分でありますから、今後しっかり、これからはこういうことのないようにしていただくことが大事ななというふうに思います。

そういうところで、議論は出尽くしたと思っておりますけど。

#### ○ 村山繁生委員

ただ、今回は、あくまで、最初僕が聞いたときに、先議を避けられなかったということ自体が、結局はもっと手続をちゃんと踏めば避けられたわけですよ。そこが一つの問題と、それから、何やかんやいろいろ、川村さんに最初に言っていただくけど、結局は、そういう手続を皆怠ったということでしょう。こども未来部にしても総務部にしても、本来、また開会議会でも緊急議会でも何でも何回かチャンスはあったと思うんですけど、そういうことを何もせずに、全て今回のこの件に関しては、手続が不備というか、怠ったという、結局はその一言に尽きると思うんですよ。

ですから、そんないろいろな弁護をごちゃごちゃごちゃごちゃ遠まわしに言われても、本当に今回は手続上の不備でしたと。本当に申しわけなかったということで、最初からそうやって言ってもらえば、それで何もこっちも言えへんで。これは、工事案件とか中身の問題ではなくて、本当に先議にかけたということだけが問題であって、なぜかかったかということは、それまでの手続を怠ったからでしょう。だから、そのこのところだけきちっと、そこだけはっきり言ってもらったら、いろんな3月や5月や、そんなことは言わんでもよろしいやん、はっきり謝ってもらえば、それで。手続の不備ですやん、一言で言ったら、それだけでお願いしたいと思います。

#### ○ 中村久雄委員長

これは委員全員の意見やと思います。

それでは、これより討論に移ります。

討論のある方は、挙手にてご発言願います。

○ 川村幸康委員

先議の討論はなしやな。この内容に対する討論やな。含めての討論ってあるの。

○ 村山繁生委員

先議が議案なん違うか。

○ 川村幸康委員

先議に対する議論というのは、委員長報告か、どっちなんや。

高額案件の採決の討論か、これは。どういう討論や。それ以前の問題。

○ 渡邊議会事務局主事

事務局からご説明させていただきますけれども、今回の今から行う討論以下については、この議案に対する部分についてしていただければということでございます。

以上です。

○ 中村久雄委員長

それでは改めて、討論のある方は挙手にてご発言願います。

(なし)

○ 中村久雄委員長

別段討論もないようですので、これより簡易採決で行います。

議案第13号工事請負契約の締結について一（仮称）保々こども園改修工事（1期工事）一については、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 中村久雄委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第13号 工事請負契約の締結について―（仮称）保々こども園改修工事（1期工事）―について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 中村久雄委員長

というところですがけれども、委員長報告にしっかりと記録にとどめたいと思いますので。

○ 村山繁生委員

ちょっとお願い、委員長報告ですけど、午前中から今までかけておった議論ね。全部またいつもみたいに議事録みたいな委員長報告にすると、またどえらいこと時間がかかるし、議会事務局の負担も物すごい多いと思いますので、議案に関連した部分だけで、本当に簡単に要約版で、先議に至った謝罪と、二度とないようにと、そういった方向性のあれだけ書いてもらえばでしてほしいなと思う。この先議に関しての中身のことは、全然この議案には関係ないところやもんで、だから、こんな議事録みたいなのはやめてください。要約版でさ。

○ 中村久雄委員長

おっしゃることはようわかりますし、簡潔にまとめたいと思っておりますけど、ただ、この先議の手続の部分にかかった部分は、我々は大事な仕事をしてきた部分ですから、その辺ははっきりとわかるように簡潔にまとめたいと思います。

○ 川村幸康委員

しゃべったのは私と村山さんやで、簡便でも構いません。削ってもろうても構いません。意味のあるところだけ酌んで書いてもろうたら結構です。

それともう一個、俺は、きょうはこれだけしか時間がないでせんけどあれやけど、総務常任委員会にも申し送っておいて、委員長から。総務部が、なぜ3月下旬に聞いておって

から、5月23日までずーっと報告せんだか、そっちのほうが問題や、今度は。逆に言うと総務部が問題やで、明らかになったわな、この審査で。だから、今度は総務部に対しても、委員長からじかに総務常任委員会含め、総務部長に申し入れをしておいてください。

もしあったら、今度の通常の委員会的时候に総務部長を呼んでもうて、一遍これは聞きたいわ、話だけでもと思っています。

○ 中村久雄委員長

了解しました。

○ 川村幸康委員

お願いします。

○ 中村久雄委員長

それでは、非常に時間かかりましたけど、これでこども未来部の議案審査は終了となります。

以上で全ての事項は終了しました。

最後に、今出ましたけど、委員長報告は正副委員長に一任してください。よろしいでしょうか。お願いします。

(異議なし)

○ 中村久雄委員長

ありがとうございます。

これにて教育民生常任委員会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。

14 : 17 閉議